

町民投稿 一つずつ 大根の種 地に預く(み江)^{あず}



9月定例会

シリーズ『えがお』

コスタリカのパラリンピック選手団「日本文化満喫中」

令和2年度決算を認定

.....

2

ページ

特集 思いの輪は広がる

.....

10

ページ

町の考えを問う（一般質問）

.....

14

ページ

コロナ感染対応の決算を認定！

令和3年度 9月定例会 2年度一般会計・特別会計など決算総括質疑！

一般会計

令和2年度決算

予算現額	89億6,095万円
歳入決算額	83億8,444万円
収入率 93.58%	
歳出決算額	77億2,407万円
執行率 86.20%	
翌年度(令和3年度)繰越額	2億1,054万円
実質収支額	4億4,982万円

当初予算額
60億4,125万円

特別会計・企業会計(7会計)

歳入決算額	41億6,801万円
歳出決算額	43億8,375万円

認定

いじが聞きたら！

実質収支は

質問 実質収支は4億4,982万円で、昨年の3億9,000万円から1億円位多いが、どう活かすのか。

答弁 先が見えずいつ緊急対応が必要かわからない。感染拡大の波が来たときに直ぐに支援などの対策ができるように、これを持ち合わせていく。

費関係の予算残額の実状は。

ひまわり乗車券 交付の実状は

質問 ひまわり乗車券の使用率が33.2%と低いが？

答弁 コロナ禍、外出機会が減少している。デマンドタクシーやフルーツバスの公共交通と関係が深いので、まちづくり政策課と連携協議を進めて行く。

鳥獣被害対策 事業は

質問 鳥獣被害対策事業費の予算残額の実状は。

答弁 イノシシ、シカの捕獲頭数が減ったことによる減額。ハクビシンや猿の被害が増えており、猟友会や地域の協力を得て、猿追いを考えている。

河川清掃などの 今後は

質問 コロナ禍で中止となり不用額を出した町民運動会や河川清掃の今後のあり方は。

答弁 運動会については誰もが楽しめるニユースポーツを検討。河川清掃事業など、高齢化問題を含めて、8

商工支援は十分 だったか

質問 コロナ禍で商工

月から始めた自治会対策会議であり方の検討を進める。

一般競争入札 制度導入後は

【質問】 一般競争入札制度が導入されたが、その課題は。

【答弁】 一般競争入札の業者選定委員会のなかで研修した。財務規則上の制度については周知していく必要がある。

法人住民税の 徴収率低下は

【質問】 法人住民税徴収率が、令和元年度99・9%から令和2年度91・7%に減っている要因は何か。

【答弁】 コロナ対策のため、令和2年度納税猶予により大きく減少となった。

新型コロナウイルス対策関連事業

『松川町の家計簿より抜粋』

総額約 17 億 7,000 万円の内、1 人 10 万円の特別定額給付金支給は 13 億円余で、国からの交付金を活用して町独自の経済支援事業も取り組まれた。

〔コロナ関連支出決算一覧表〕

単位：千円

感染症拡大予防対策事業

公共交通運行事業者感染対策	300
美しい環境づくり活動助成事業	67
抗原検査事業	810
オンライン家庭学習通信環境整備補助	250
公立学校情報機器整備事業	58,016
ふるさと帰省支援金	777
ワクチン接種事業	2,089
合 計	62,309

町民生活支援事業

学生応援仕送り	3,784
ひまわり乗車券追加分	623
特別定額給付金	1,308,563
子育て世帯への臨時特別給付金	17,531
ひとり親家庭等臨時特別給付金	3,890
子育て世帯家計応援給付金	16,560
合 計	1,350,951

コロナウイルス対策関連事業合計	1,769,366
-----------------	-----------

地域経済支援事業

飲食店休業要請協力金	5,900
公共交通事業者連携支援	2,762
休日夜間救急医療体制維持対策	3,132
小規模事業者対応給付金	82,600
小規模事業者応援給付金（追加）	5,475
新型コロナ危機突破支援金推進支援金	20,447
新型コロナ危機突破支援金推進支援金（加算分）	12,029
収穫体験観光等販路開拓支援	15,000
飲食店販路開拓支援	2,500
テイクアウト・デリバリー券	2,632
医療福祉等従事者慰労券	3,537
お店応援プレミアム付商品券	39,069
まつかわ事業者応援券	12,585
まつかわ事業者応援券 第2弾	18,168
小規模事業者等家賃補助金	1,270
商工業制度資金預託金	40,000
町制度資金保証料補給金	13,000
保養宿泊施設事業支援繰出金	76,000
合 計	356,106

議会の視点



一般会計は当初予算約 60 億円であったが、コロナ禍にあつて、その対策費などで大きく膨張し決算額が 77 億円となる異例の年となった。

コロナ対応は、初めてであり、戸惑いもあったと思う。多額の地方創生臨時交付金を申請するなど、行政の苦労もあったと思われ、敬意を表する。

地方公共団体の財政力を示す財政力指数は 0・407 となり、近年徐々に上がっている事は喜ばしい事である。引き続き効率的・効果的な事業の執行と財源確保への尽力に期待する。

下水道使用料の徴収間違いなど基本的な問題が発見されたが、税や使用料は町民生活に直結する。職員間で点検を共有し正確な業務を求める。

松川町の財政はどんなってる？

区 分	指 数	財政指標目安
経 常 収 支 比 率	81.20%	70 ～ 80%
実 質 収 支 比 率	10.30%	3～5%
公 債 費 負 担 比 率	7.90%	10% を超えないことが好ましい。
財 政 力 指 数	0.407	数値が高いほど、自主財源の割合が高く、財政状況に余裕がある。
将 来 負 担 比 率	△ 17.40%	マイナスが大きいほど良い。
実 質 赤 字 比 率	－	黒字のため－（マイナス）表記

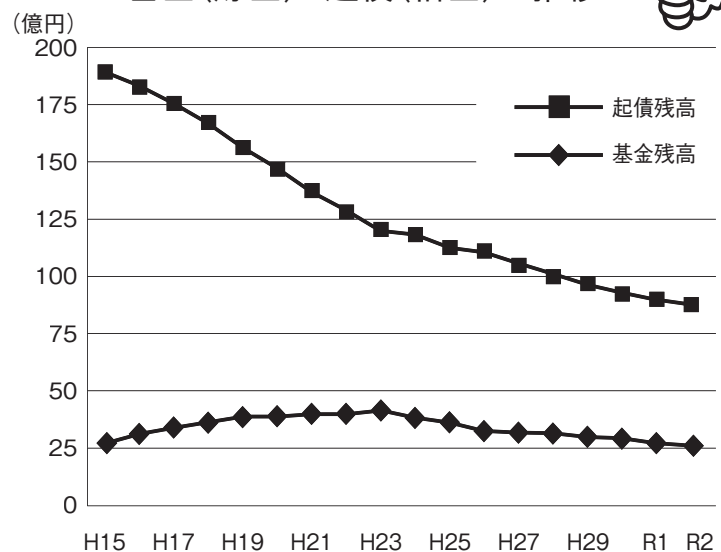
ここがポイント

基金（貯金）が多いと税金が有効に活用できていないということ。基金が少ないと万が一に対し不安が残る。

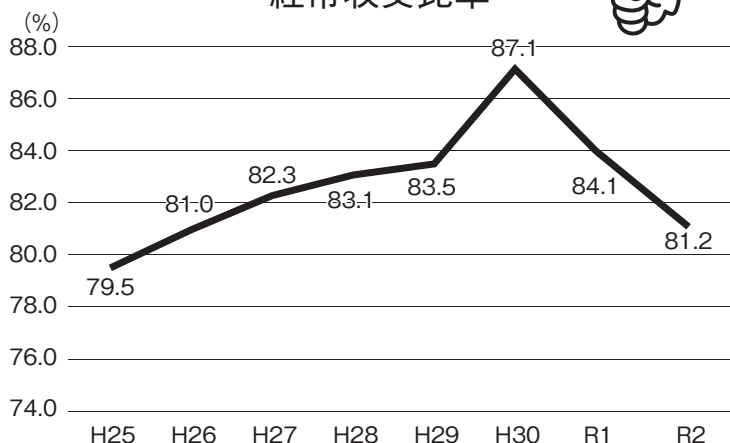
起債（借金）は10年で半減しているが、基金と起債のバランスは常に一定の間隔で推移していく。

単年での金額より時系列で相対的な増減を確認することが大切。目安として標準財政規模の20％程度の確保が望ましい。松川町は20.6％で概ね良好といえる。

基金（貯金）と起債（借金）の推移



経常収支比率



ここがポイント

経常収支比率は財政構造の弾力性を表しており、人件費等の経常的な経費に地方税、地方交付税などの経常的な収入がどの程度充てられているかを表す。

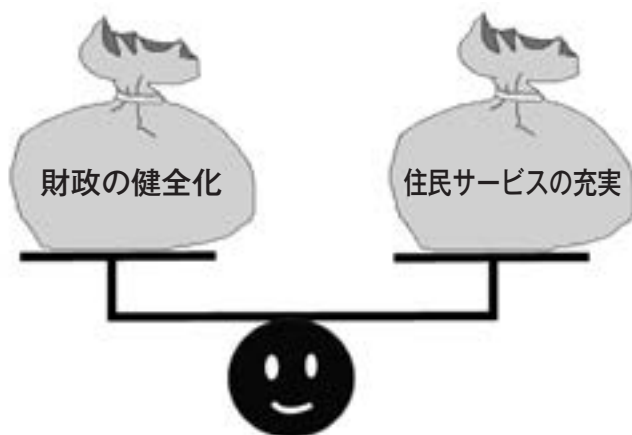
松川町は81.2％。数値が高いほど財政構造が硬直化していることを表す。（上表参照）



町の一般会計 1世帯当たりで見ると

(4人家族で換算)

	令和2年	令和元年	差 額
収入	386万円	321万円	プラス 65万円
支出	334万円	308万円	プラス 26万円
貯金	78万円	89万円	マイナス 11万円
借金	276万円	292万円	マイナス 16万円



町の財政は概ね健全な状況といえる。大型の整備計画が控えているなど、決して余裕のある状況ではありません。財政とのバランスを取りつつ住民サービスの充実を期待したい。

監査の視点



令和2年度の財政運営は、新型コロナウイルス感染症対策のため、歳入歳出ともに大きな増額となった。実質収支は4億4,982万円の黒字、実質収支比率は、10.3%。県下の町村の平均8.0%(令和元年度)を2.3ポイント上回っており、標準財政規模から見ると概ね適切と言える。町債残高は一般・特別会計合わせ総額85億2,092万円で、前年度に比べ5億1,812万円(△6.0%)減少し、実質公債費比率も5.5%と前年度より0.7ポイント下回り、総じて健全な財政状況が維持されている。

公共施設の老朽化対策をはじめ新施設の整備計画など財政運営環境は厳しい状況にある。

特別会計を含めた未収金は、法人町民税を除くと全体的には減少傾向である。入札制度の改正により一般競争入札が導入されたが、関係法令に対する職員研修を行い契約の適正化を図るよう努められたい。

税は公正で偏りのない賦課が原則、次年度確定予定の固定資産税の評価替え及び評価基準の見直しなどは慎重な対応を求め、事務事業及び予算執行などは、概ね適正と判断する。

9月定例会発議

発議2号

松川町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について。

第2条第1項

議員の「事故」等による欠席の事由の改正について出産、育児、介護等の具体的内容に改訂。

第102条

議場に持ち込む携帯品改正について、議場にタブレット端末の持ち込みを可能とするための改正。

全員一致で可決

発議3号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求めるもの。

国においては令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、確実に実現されるよう、強く要望する。

全員一致で可決

地方自治法第99条の規定により意見書を提出した。

貸衣装キャンセル料要綱無し・実態調査無し
社会文教常任委員会から修正案提出

一般会計補正予算（第 2 回）修正可決

補正予算額 6 億 8,729 万円 補正後計 72 億 2,073 万円

国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険事業・発電事業の 4 特別会計は前年度繰越金を予備費とした。水道事業・下水道事業・保養宿泊施設の 3 会計はそれぞれ新たな事業を追加した補正が提案され可決した。

主な補正内容

歳入

科 目	補正額
町税	△ 2,249 万円
普通交付税	1 億 5,815 万円
災害復旧費国庫負担金	575 万円
ふるさと応援寄付金	2,000 万円
繰越金	2 億 6,982 万円
諸収入	1 億 6,510 万円
町債	6,330 万円

一般会計補正予算（第 2 回） 修正（案）

款	項	金 額
10 教育費	4 社会教育費	1 億 258 万円
13 予備費	1 予備費	3 億 7,885 万円

賛成多数で一般会計補正予算（第 2 回）が修正された。

歳出

科 目	補正額
リニア対策（発生土運搬対策）	1 億 6,000 万円
高度無線環境整備推進事業	5,585 万円
道路維持関連工事	4,390 万円
信州大学航空機システム共同研究講座コンソーシアム負担金	2,000 万円
災害復旧事業	925 万円
若者定住住宅取得祝金	780 万円
保養宿泊施設ワーケーション対応施設環境整備事業	500 万円
元気センター（仮称）整備事業	325 万円
飲食・販売・サービス事業 新型コロナ危機突破推進支援金	300 万円
成人式支援事業	減 額 265 万円
フリースクール支援事業	197 万円

詳しくおしえて

リニア対策費

質問 発生土運搬対策費として計上される洞新線道路改良は。

答 下小松原橋南から小松原橋迄の 1 km である。新設 200 m と現道拡幅 800 m で拡幅後の道路幅は約 7 m を予定。

成人式支援金

質問 6 月補正で成人式抗原検査補助金として 112 万円が計上されていたが使われたのか。

答 3 件使われた。

若者定住住宅取得祝金

質問 増額は喜ばしいことである。申請件数は。

答 令和 2 年度も適用されるので総数で現在 25 件の申込がある。見込みも申請が 27 件ある。

質問 抗原検査予算が残っているのに成人式抗原検査キット分を新たに予算計上されるのか。

答 当初予算の節区分が負担金及び交付金になっていて、今回必要費で計上した。

意見 節の流用は可能であるはず、流用にて対応すべきであり追加予算はありえない。

ワーケーション 環境整備

質問 清流苑は保養施設である。ワーケーションの需要があるとは思えないが。

答弁 問い合わせが4件きている。コロナ禍で経営が厳しいなかで、集客に繋がるように努めたい。

フリースクール 委託

質問 教育支援員増とフリースクール委託料とは。

答弁 不登校などの生徒のフリースクールをNPOに委託するものである。

信州大学共同研究講座 コンソーシアム

質問 企業版ふるさと

納税は町村を通じての寄付であるが、他町村の状況は。

答弁 取り纏めている飯田市へ問合せた。公開できる範囲は次の表の通り。

市町村名	令和2年度寄付額計
飯田市	1,110万円
松川町	10万円
高森町	10万円
喬木村	10万円
豊丘村	10万円
大鹿村	10万円

補正予算討論

反 対

青年の家、管理費61万は屋根の一時的な応急処置とのこと。存続させること自体に反対である。 松井議員

補正予算 修正案討論

反 対

議会であれもこれもだめでなく、成人式を迎える関係者でしっかりと計画をして実行すれば良い。 中平議員

12月予算迄に内容を精査し修正すればよい、9月時点で結論を出すのは早い。 川瀬議員

賛 成

抗原キットは問題が無いがキャンセル料は不平等である。12月に違う形で再検討され提出を。 森谷議員

年内の成人式執行は無理と考える。しっかりと検討され再提出を。 坂本議員

陳情 1

新型コロナウイルス感染症の影響から中小企業者の営業と生活を守るための地方創生臨時交付金などの活用を求める陳情

- ① 新型コロナウイルス感染症に対する国民健康保険の傷病手当給付金の支給対象に個人事業主を加えること。
- ② 新型コロナウイルス感染症による経済的影響を被る中小企業・小規模事業者の営業存続を支援する制度を継続・拡充すること。
- ③ 地方税の滞納処分に関して、納税緩和措置を住民に周知するとともに、積極的な活用をはかること。
- ④ ウッドショックをはじめとする資材高騰による実施把握と対策をはかること。

付託結果

コロナ禍では、通常の日常生活に戻るまで、中小企業のみならず町民の命と生活を守る対策を立案実行することが求められる。記書き部分に関しては町として有効性をよく吟味することを望む。国民健康保険制度の件についてはよく精査すること。 本会議で全員一致で採択

陳情 2

消費税の適格請求書（インボイス）など保存方式導入の中止を求める陳情

・貴議会が国及び政府に対し、消費税の※適格請求（インボイス）など保存方式の実施を中止すること。

付託結果

社会文教常任委員会では反対3 継続審査4で継続審査となった。 本会議でも賛成多数により継続 審査

※適格請求書（インボイス）とは、売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額などを伝えるもの。現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「消費税額など」の記載が追加された書類やデータ。仕入れ額控除を受けるために、売り手から発行された適格請求書等の保存を求める仕組み

だより

総務産業建設 常任委員会

日(水)に社会文教常任委員会を行い、委員会判断に

と審査を分担し、能率的に処理するために設置された機関です

総務産業建設常任委員会には、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・リニア対策課・建設水道課・議会事務局の分野を担当しています。

質問・意見

答 弁

① 空き家家財道具など処分補助金20万円増、税金で家庭ごみを処分するような状態である、持ち主に請求するなど、考えていくべきではないか。

② 危機突破推進支援金300万円増、コロナ禍で多くの中小業者が苦勞しているが今の状況と今後の見通しは。

③ 公園管理費180万円増、公園はお金、手間もかかる、良い環境のなかでの子育ては大事、コロナ禍で利用者も増えている。修繕及び整備の場所はどこか。

④ 保養宿泊施設事業支援繰出金500万円増はなぜ必要なのかをわかるように説明を。

⑤ 創業支援事業100万円増、支援事業は非常に良いことと思うがどのような企業が創業されたか、また、支援事業を利用後も継続して営業しているか。

⑥ 林業費、菖蒲沢線舗装補修工事250万円と、菖蒲沢線は災害復旧費、現年発生林業施設災害復旧費でも925万円が計上されているが災害復旧工事との関係は。

① 全国的に空き家問題の家財処分がネックとなり、このような制度があるが、改善していかなければいけない点もあるものと意見として受け止める。

② コロナ感染症の第5波の状況から判断すると、大変厳しい状況である、ワクチン接種もあるが、そのあとに続くような対策として今回補正で増額した。

③ コロナ禍の影響で公園の訪問者は、非常に多く見られる。台城公園とむらやま公園の防護柵の整備、台城公園の電灯関係の修理、通路の枝切り作業を現在計画している。

④ 第一に清流苑の財源で運営したいという強い思いがある。利用客から客室のWi-Fi環境の改善、会議などの環境整備など要望もあり、課題を改善しサービス向上と集客力増に努めたい。

⑤ 創業支援事業は、平成29年から開始され、今年度は中古車販売業が開業、クリニックが予定。担当者が把握しているなかでは、廃業しているところはない。

⑥ 災害復旧費については被災した部分だけが対象となり、その前後の陥没箇所は、町単で直さなければならないので、その部分を一般会計の林業費で計上している。



しっかり講習、安全作業(木材破碎機) プログラミングで思いのままに(Shop-bot)

調査・研究

竹林整備などにも利用できる木材破碎機と、旧東小学校で立ち上げられたMMMプロジェクトの合板や木材の加工が容易にできるShop-botを視察した。

社会文教 常任委員会

社会文教常任委員会は、住民税務課・保健福祉課・教育委員会（こども課・生涯学習課）・会計室の分野を担当しています。

委員会

9月6日(月)に総務産業建設常任委員会、9月8
て現地調査を実施しました。

※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査

質問・意見

答 弁

①戸籍住民基本台帳費の委託料で個人番号カード交付管理システム導入など140万4,000円については、どのような内容か。

②社会福祉総務費で委託料の旧ハローミヤ解体設計及びアスベスト調査業務325万円は。

③教育委員会事務局費の196万6,000円についてどのような内容か。

④保育所費で需用費のスプリンクラーポンプ入替42万円の事業内容は。

⑤成人式抗原検査キット62万1,000円と成人式延期に伴う衣装などキャンセル料補助200万円の内容は。

⑥固定資産税で現年課税分がコロナ感染症の影響で減免や免税をして、3,169万3,000円の減額となっている。コロナがなかったら、予定の約7億円の歳入となっていたのか。

①カードの交付枚数が増加してきている。データの保持や正確性、作業効率を図るためのシステムを導入。カード記載事項の変更に対応する券面記載プリンターも導入したい。

②アスベスト調査は46万円で今回詳しく調査をするものである。設計料は279万円で元気センター（仮称）の建設を早期に進めるための予算である。

③不登校児対応とフリースクールへ繋げる役割を担う教育支援員の報酬として、1回500円で10人分のフリースクール委託料としてそれぞれ半年分を計上。

④双葉保育園のスプリンクラーのポンプが、長年使用をしていて動かなくなったことから取替をする。

⑤成人式抗原検査キットは一人2回分で4,600円。成人式参加者130人と恩師5人分を用意。衣装などキャンセル料補助金は、上限8万円で25人分を予定。

⑥コロナで減額が読み切れなかった部分が多くあり、通常であれば7億円近い歳入が見込めた。

調査・研究

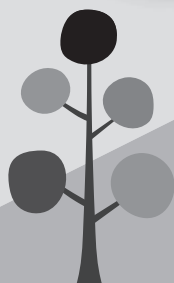
清流苑でのプール学習や完成途中である小中学校のトイレ改修状況などの視察を予定したが、コロナ感染警戒レベル5に配慮し、視察は行わなかった。

こども課からの報告

- ・清流苑でのプール学習に関する中間報告として、天候に左右されることなくプール学習の時数を確保できた。温水で冷えすぎない、広くて泳ぎやすいとのことであった。
- ・10月から小・中学校に順次タブレットの持ち帰りを実施するに当たり、使用に関する取り決めについての報告があった。

特集

思いの輪は広がる



みんなの居場所

子ども食堂のはじまり



こども食堂は東京都大田区の八百屋から

子ども食堂は、東京都大田区にある「気まぐれ八百屋だんだん」の店主であった近藤博子さんが2012年に作ったのが始まりです。「子ども食堂」を立ち上げたきっかけは、朝ごはんや晩ごはんを当たり前食べられない子どもの存在を知ったことだそうです。日本の社会に隠れた「見えない貧困」を目の当たりにした近藤さんは、自分の手でできることとして「子ども食堂」をスタートさせたのです。

こどもカフェ Hug

2017年4月松川町で一人の若き女性が立ち上がりました。

篠田さんです。中央小学校の教育支援から教育コーディネーターとして教育現場で活動しながら、NPO法人として「こどもカフェ Hug」をスタートさせました。貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供する場として「子ども食堂」が各地で広まっているなかで、地域の全ての人達に、多世代の交流の場として、地域の食材を使って食事を提供し、子ども達の学習支援も行うように取り組まれたのです。



Hug は活気で溢れてる

思 い



NPO法人Hugの篠田阿依理事長
お子様をおんぶしてのインタビュー

家庭や社会の形が変化している現代にコロナ禍も加わり、子どもたちが地域と関わる機会は更に減少しています。Hugでは「共にはぐくみ、1人ではぐれることのないネットワーク作りを目指して」を理念に、子どもたちの多様な学びの場や多世代の居場所作りを目指しています。昼間のカフェやこども食堂、学習サポートのボランティアや食材寄付など、地域の方との温かい繋がりに感謝の毎日です。今は葛藤もありますが、できることを続けたいと思います。

地域の宝

篠田さんの思いは大きな輪となり地元企業の全面的な協力と地域の沢山の方からの温かな支援を得て松川町に広がっています。「こどもカフェ Hug」は地域の宝です。

松川町議会でも何かできないかと「子どもの居場所づくりへの支援」として県へ要望書を2017年と2018年に提出しました。2017年には「子どもの生活・学習支援事業補助金」が創設され、地域発元気づくり支援金など色々な支援がされるようになっていきます。議会としてカフェの必要性に対する町民の理解をさらに深め、町として「こどもの居場所」として支援できるような体制づくりをするように働きかけていきます。



優しく、丁寧に、学びは平等

フリースクール



文部科学省のいじめ防止啓発ポスター
「どこまでもあなたの味方だからね」

不登校でも出席扱いになる3つの要件

1. 義務教育の不登校生が学校外で指導を受けている場合
2. 高校の不登校生が学校外で指導を受けている場合
3. 義務教育の不登校生が自宅でICTなどを使って学習活動を行った場合

その他の要件を満たしており、かつ校長の認可が降りた場合のみ、学校外の指導が出席扱いと判断されます。

「こどもカフェ Hug」では、子どもたちの居場所として、フリースクールを令和3年5月に立ち上げました。

議 決 結 果

令和3年第3回定例会議決結果

●全員一致で議決されたもの

件 名	結果	内 容
松川町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用などに関する法律の一部改正に伴うもの。
令和2年度松川町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 83億8,444万円 歳出 77億2,407万円
令和2年度松川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 11億 519万円 歳出 10億9,140万円
令和2年度松川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 1億7,015万円 歳出 1億6,936万円
令和2年度松川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 13億5,402万円 歳出 13億2,908万円
令和2年度松川町保養宿泊施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 3億4,977万円 歳出 3億1,548万円
令和2年度松川町発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 1,534万円 歳出 1,002万円
令和2年度松川町水道事業会計決算認定について	認定	収益的收入 3億 996万円 収益的支出 2億8,016万円 資本的収入 2,660万円 資本的支出 1億5,644万円
令和2年度松川町下水道事業会計決算認定について	認定	収益的收入 6億 789万円 収益的支出 5億7,699万円 資本的収入 2億2,906万円 資本的支出 4億5,479万円
令和3年度松川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)について	可決	2873万円追加し、11億4,034万円とする。
令和3年度松川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)について	可決	68万円追加し、1億7,432万円とする。
令和3年度松川町介護保険事業特別会計補正予算(第1回)について	可決	2,393万円追加し、13億6,667万円とする。
令和3年度松川町保養宿泊施設事業特別会計補正予算(第1回)について	可決	2,429万円追加し、3億9,229万円とする。
令和3年度松川町発電事業特別会計補正予算(第1回)について	可決	532万円追加し、1,453万円とする。
令和3年度松川町水道事業会計補正予算(第1回)について	可決	収益的收入 2億8,954万円 収益的支出 2億8,730万円 資本的収入 6,509万円 資本的支出 2億 978万円
令和3年度松川町下水道事業会計補正予算(第1回)について	可決	収益的支出 6億105万円
議決	可決	辺地に係る総合整備計画の第三次変更について
選任	同意	松川町教育委員会委員の任命について
発議	可決	松川町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
可決	可決	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について
陳情	採択	飯田民主商工会会長 原寿治氏 松川支部長 田中豊氏 より提出。

い
つ
ぱ
ん
質
問

●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

件 名	塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	菅沼一弘	坂本勇治	森谷岩夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
令和3年度松川町一般会計補正予算(第2回)に対する修正案	○	●	○	○	●	○	●		○	○	○	●	●	可決	成人式抗原検査キット、成人式衣装キャンセル料補助など合計約265万を認めず、予備費にするもの。
令和3年度松川町一般会計補正予算(第2回)修正案部分を除く原案	○	○	○	●	○	○	○	欠席	○	○	○	○	●	可決	6億8,729万円追加し、72億2,073万円とする。
消費税の適格請求書(インボイス)など保存方式導入の中止を求める陳情	○	○	●	●	○	○	●		●	●	○	○	○	継続審査	飯田民主商工会会長 原寿治氏 松川支部長 田中豊氏 より提出。 ※継続審査に対する議決。

7月～9月 主な議会日程

7月2日(金) 広報部
14日(水) 議会全員協議会
リニア対策特別委員会
議員協議会
27日(火) 議会改革推進会議
8月6日(金) リニア対策特別委員会
11日(水) 議員協議会
議会運営委員会
16日(月) 広報部会
26日(木) 議会全員協議会
議会改革推進会議

9月1日(水) 議会全員協議会
3日(金) 第3回議会定例会 開会
6日(月) 総務産業建設常任委員会
8日(水) 社会文教常任委員会
15日(水) 第2回定例会 一般質問
21日(火) 議会全員協議会
第3回議会定例会 閉会
24日(金) 広報部会
30日(木) 広報部会

一般質問

町の考えを問う



マチイロでご覧いただけます

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明も求めることです。

9月定例会では6人の議員が登壇しました。質問の持ち時間はひとり20分です。スペースの都合上、質問者の責任において、質問と答弁を要約して掲載しています。

各議員の質問事項は通告通りに掲載しております。見出しと違う場合があります。

質問議員 ページ 質問事項

- ① 坂本勇治 P14 ・町の適正人口をどう考える。
- ② 松井悦子 P15 ・松川町の交通安全について
- ③ 米山郁子 P16 ・農業に視点を置いた地方創生への取り組みについて
- ④ 塩沢貴浩 P17 ・労働者協同組合法制定について
・ふるさと学費応援補助金及び地方自治体の公的奨学金返還支援制度について
- ⑤ 加賀田亮 P18 ・高額報酬受け取りに対する認識を問う
・首長の政策決定責任とその説明責任を問う
- ⑥ 米山義盛 P19 ・持続可能な農業の推進について

今月の表紙

◎写真の笑顔

オリパラのホストタウンとしてコストリカ選手の方との交流会が実施され、コストリカ初のメダリストをお招きできました。日本の着物を体験され喜びもひとしおです。

◎俳句の想い

一粒の種、大地よ大事に育ててね！という気持ちを込めて。

議会のまうごき

8月30日まちづくり政策課主催による「リニア開通を見据えた開発動向と現在の経済動向について」の勉強会へ10人が参加した。



Information

計報

9月25日に菅沼一弘議員がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。補欠選挙は、規定により令和5年4月町長選と合わせて実施されます。



議会と語る会は10月に実施されます。今回は地域と各団体の代表様限定とさせていただきます。会の方もようはチャンネル・ユーで放映されます。

問

自主財源確保のための人口目標は

答

将来推計値しか示していない



坂本勇治 議員

自主財源の確保のためには、住民税と法人税が要である。

住民サービスの維持・向上はもちろん、公共施設の維持管理やインフラ整備、20年先まで増え続ける福祉費などの確保のためには一定以上の人口の確保が必要と考える。

統計でみる「まつかわ」・松川都市計画基本調査報告書などのデータをしっかり解析・分析し目標をもって人口増加に向けた政策に反映してほしい。リアルタイムでデータを分析し、即、対応できる体制を望む。

いっばん質問

(問) 今やっている人口対策は。

(町長) 若者達と地域をつなぐこと、これからの時代の自治組織のあり方、特色ある教育カリキュラムと子育てしやすい環境づくり、健康長寿のまちづくり、リニア時代を見据えた新たな関係人口の創出など、総合政策の視点に立ち町全体の魅力化をはかる。

長期的に粘り強く取り組むことでこの町に住み、関わるあらゆる人が生き生きと暮らす事のできる持続可能な地域づくりを目指していく。

(問) 自主財源確保のための町内産業への政策は。

(産業観光課長) 農業の担い手確保として、新規就農者に就農前の

研修、就農直後の経営確立を支援する他、果樹研修生の受け入れをスタートさせている。

農産物のブランド化では、有機野菜の学校給食提供を契機に、安心安全で環境にやさしい付加価値をつけた農産物で、就農や移住のきっかけになることを期待している。

既存企業の発展また新規企業の進出の支援として、工場立地法に関する施設の緑地割合の軽減に関する準則を設けて、施設の増築や新規の建設に配慮をしている。

創業起業には、創業時の初期費用を助成する創業支援事業補助金を整備している。

商工会と連携して継続的な賑わいや、空き店舗対策にシフトした形で、商店街の維持また新規出店や、移住定住を含めた人口対策

につながる取り組みを考えている。

キャリア教育の視点から、子どもの頃から地域産業に興味を持つてもらい、将来この地で、就職や起業してもらうことで、人口問題の解決を目指している。

(問) 教育の高度化を目指した政策は。

(教育長) 教育の高度化を4つの視点で考えている。

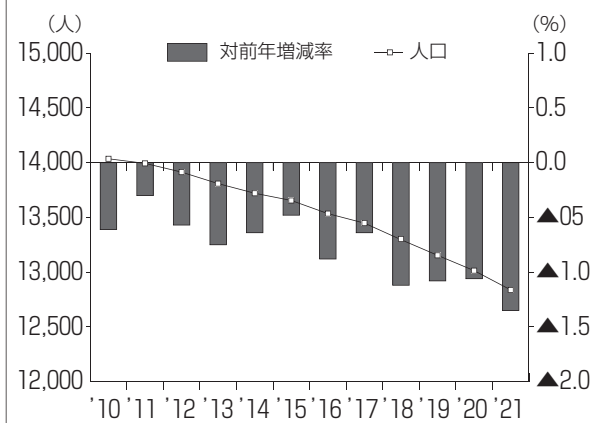
- ①ギガスクール構想推進のためのICTに秀でた教員の確保をした
- ②教育の系統性と体系化に向けて、学園化構想を立ち上げている。
- ③子ども達の学力を伸ばすために、主体的で対話的で深い学びの実現を指導していく。
- ④学力をつけた子どもたちにまた戻ってきてもらうために、地域とのつながりを深めて、松川らしい教育を推進していく。

松川町の世帯数の推移 (住民基調台帳ベース、日本人住民)

【2021年1月1日時点】

人口 12,838人

対前年増減率 -1.4%



人口減少は悪化するばかりだ
有効な政策立案は先ず分析から



松井悦子 議員

問

松川町の交通安全・・・どう実現させるか

答

限りある予算を、必要な所へ優先的に

安心安全な松川町と言われているが、町内を見回しても道路状況は悪く、カーブミラーは傾いて用をなさないなど、交通安全の整備が遅れていると感じている。

どうしたら、円滑な道路整備や安全対策ができるのかを問うた。

い
っ
ぱ
ん
質
問

(問) 千葉県の通学路で小学生がトラックにひき殺される悲惨な事故があった。狭い歩道のない通学路も原因の一つだと思うが、松川町の危険箇所の点検は

(町長) 限りある予算のなか、有利な財源を探しながら、必要な所には優先的に振り分けていく。

松川町の町道の改良率は、県平均の11.4%隣の高森町14.1%など近隣町村と比べても低い。今後どう進めるのか。

(問) 交通安全は、町民一人ひとりの意識によって保たれる事は確かであるが、一方で道路状況にも大きく左右される。序々に整備されてきているが、まだまだ狭く歩道のない危険な町道がほとんどだ。

どうなっているのか。

(こども課長) 各学校、PTAなどに調査をしてもらったところ、町内29箇所が抽出された。今後、安全に通学できるように進めて行きたい。

(問) 通学路の危険箇所はすぐにも改良して欲しいが。

(町長) 土木費の一般会計全体比は県平均と比べても特に少なくはない。しかし、決して適性配分だとは思われない。



整備不良

(問) 松川町交通安全協会と町の関係についてお聞きする。

安協の仕事で大きなものにカーブミラーの管理がある。ミラーの清掃や新設、補修、ミラーの取り換えなどだ。町は材料を用意するが、工事は行わず各支会にお任せしている。

しかし専門的な工法を持たない安協には限界があるのではないかと。町内には傾いてしまいかーブミラーの用をなさない箇所がかなり見受けられる。特に新設は安協の役員さんの負担も大きく問題ではな

いか。

新設工事は町の責任で行うべきではないか。

(総務課長) 各支会へ委託金を交付している。なのでそれを使ってもらい、施工方法については各支会で判断をしてもらい、設置をしている。

(問) 安協を解散する話が出た辰野町では、協会費の徴収をやめ、全額町の拠出とした。協会費については、以前から不信感を持っている町民もいる。松川町(約200万円)もそのようにしたらどうか。

(町長) 辰野町の状況を確認したいが、協会費を払う事により、安全意識を高める役目もあると思う。

問

地方創生にどう農業を活かしていけるか

答

有機農業のブランド化を視野に



米山郁子 議員

リニア新幹線開通に向けた取組として農業に視点を置いた地方創生が必要と考える。松川町ではどのように進めていこうとしているのか。農業の地方創生への課題として、新規参入へのハードルについて、農業地域の魅力向上について、農業収入の安定と持続性について3つの視点で質問した。

い
っ
ぱ
ん
質
問

(問) リニア新幹線開通に向けた取組として農業に視点を置いた地方創生が必要。町ではどのように進めていくとしているのか。

(町長) 農業というのは職業というだけではなく生き方として選べるもの。豊かな農業ができる町として、農ある暮らしの魅力。子育て世帯が移住する際に安全で豊かな食材を提供していることでの、子育てのブランド化などに力を入れていき発信していく。

(問) 農業を志し、農業地域に参入しようとしても受入れがスムーズにされていないケースがある。農地確保、技術ノウハウの指導、収穫までの生計についてどのようなようになっているか。

(産業観光課長) 地域おこし協力隊制度を活用、農業次世代人材投資資金(経営開始型)給付などを利用し研修や就農している。今後は他町村での事例を研究、後継者の就農への祝い金などの検討も考えている。

(問) 農業の魅力発信を戦略的に言い、イメージを向上させる取組についてどのようなことをされているのか。実状と今後の施策は。

(町長) コロナ禍では各種メディアでの広報宣伝、動画配信、webサイトの立ち上げ、ネット販売、ふるさと納税を活用しての発信をしている。

今後はシールド農家の広報活動、有機農業取り組み強化、未来塾のように、学びと人との繋がり場の提供などをしていく。

(問) 2015年には販売農家率は72・9%で高い水準を維持していたが、5年経過しての現状は。

(町長) 2020年の農業センサスの結果では農家販売率71%であり、最近では減少傾向にある。

(問) 環境保全事業推進の取組は、永続的に取り組んでいく事業である。政策方針は。

(町長) 白杵市の先進事例として、農業基本条例の制定、組織づくり、生産の拡大、流通の強化、開発支援などを参考に政策的推進を目指したい。



野菜づくりを楽しむ「ふれあいガーデン」



塩沢貴浩 議員

問

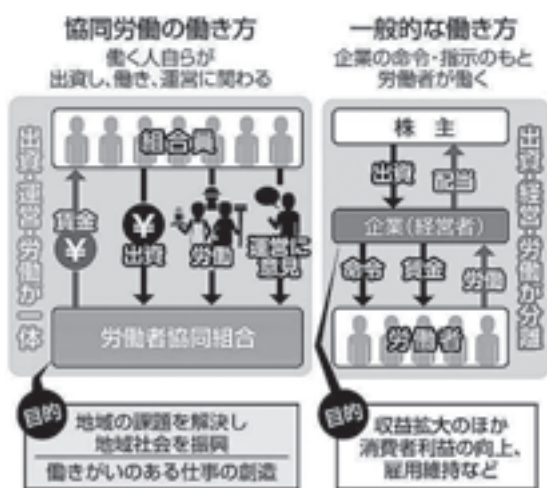
若者の移住定住促進のための支援策を

答

特色ある地域づくりに取組んでいく

少子高齢化社会のなか、人手不足は全国の自治体の喫緊の課題である。人材確保の手段として「労働者協同組合法」。若者支援として「奨学金返還支援制度」について町の取り組みを聞いた。若者たちが安心して学び、働き方を選んでいくことができるよう自治体にうかがう。

出典：東京新聞 web 2020 年 12 月 5 日付



（町長）町に置き換えるとき、行政サービスのニーズが多様化するなか、限られた財源のなかで町からのアウト

（問）昨年成立した「労働者協同組合法」。NPO 法人よりも設立が簡単で、多様な働き方、新たな就労の機会、地域の課題解決に向けた一助になると期待する。町としての周知や支援も必要と考えるが現状は。

ソーシングの対象となるか検討が必要と考える。持続可能な地域づくりの課題の取組を進めるうえで、対策会議の立ち上げを提案できるか検討していく必要があると考える。

（意見）この法律の特徴として、少人数小規模な事業に向いていると考える。若者のふるさと回帰志向、分散型社会への転機となる可能性も十分にあると思う。共同労働による事業は、一般の企業より経済的に抵抗も回復力も強いとされている。

（問）ふるさと学費応援補助金について、周知の方法と現状は。

（こども課長）平成28年度からの制度であり、目的として奨学金を受けて就学した生徒の学校卒業後、町内に居住するものに対し奨学金の一部を補助する。町の将来の人材の確保と定住促進のため、年間償還金の4分の1もしくは5万円を上限に年間の補助をしている。令和2年度は45人の方に総額約147万4,900円の補助をしているのが現状である。

（問）周知を中学3年生からにできないか。

（こども課長）現在、高校の奨学金も対象ということで中学卒業前にこのふるさと学費応援補助金については説明をさせて頂いている。

（問）奨学金返還支援制度を始め、若者が地元に戻ってきやすい環境を整えるのも自治体の役目と考える。今後の取組についてうかがう。

（町長）研究も進んできてはいるが、トレンドが変わってきている。若者はその地域が面白いかどうかに着目している。「なんでもある地域」より「ここしか出来ない地域」へと着眼が変わってきている。松川ならではの、特色のある取組に力を入れていく。いまある政策の方向性を定め、絞っていく段階にきたと感じている。

（意見）奨学金返還支援制度も含め、若者の背中を押すきっかけとなるよう共々に取り組んで参りたい。

いっぱん質問

リニア残土対応や固定資産税の増税、説明を尽くしたか

答 十分に説明したから問題ない



加賀田亮 議員

上片桐停車場バイパス、高森町への残土搬出といったリニア対応の失政が続く。今年度からの固定資産税の増税は、町民や議会に十分な説明がない。町長には素直に謙虚に失策を認め、自分の責任を十分に自覚して失敗の原因追及と反省によって新たに躍進してもらう一助になれば、との思いで所見を質した。誠に遺憾ながら、町長からは失政と責任を認めるような答弁は得られなかった。

いっぱん質問

(問) 上片桐停車場バイパス実現は絶望的だ。地権者の同意も得られず県も消極的との報道があった。今後の町の方針は。

(町長) 県の建設部と交渉している。

(問) 高森町へのリニア残土搬出ルートは新井交差点経由が既成事実となってしまう。宮ヶ瀬橋経由、豊丘村経由ルートも使うような要求しないのか。

(町長) 新宮ヶ瀬橋が完成するため高森町と調整する。

(意見) リニア失政が甚だしい。交渉先を県建設部に変えるのは、県建設事務所と関係が行き詰まっている証左だ。猛省を求める。

高森町には、残土搬入の際に「豊丘村を通

行できない」という足かせがあったと聞く。だから高森町は新井交差点ルートを希望した。町長はその制約を知りながら町民に公表せず説明会を開かせた。「豊丘村を通れない」ことを町民が知っていれば高森町と有利な交渉ができたはずだ。昨年JRが搬出運行の計画を初めて町に示した時も同じだ。町長は失政の原因となった情報を公開しない。自分の失策を認めず、結果的に町民が負担を被る。同じような失敗を繰り返す町長のリニア政策には大いに疑問を感じる。

(問) 固定資産税は住民にとって身近な税金だ。新井と名子の市街地のみ、町は今年度より評価方法を「路線価」に変えた。それにより対象市街地は大幅な増税となった。のみなら

ず、実情に合わせる調整のための「地域補正」計算も廃止した。これによりさらに格差が広がった。なぜその事実を住民や議会に丁寧に説明しないのか。

(住民税務課長) 基準を路線価に変えることは町民に伝えた。

(問) 「地域補正」計算の廃止は全く説明がない。本年度は国のコロナ政策により増額せず据え置きになる。よって多くの町民が増税に気付くのは来年度だ。しかし町民が不服申し立てできる期間は今年度限り。納税者への十

分な注意喚起を怠っているのでは。

(町長) 不服があれば申し出るようにチャネルユーで放送した。

(意見) 徴税者たる町の説明姿勢には大いに不満だ。徴税という行政業務は、町民生活に重要で直接の影響が大きい。特に増税となる町民に対して説明を尽くしたとは言えない態度は問題だ。

今後、納税者たる町民の不服は期限を超えても受理し、町民に寄り添う誠実で公正な徴税行政に努めるべきだ。





米山義盛 議員

問 持続可能な農業をめざして

答

有機農業の可能性をじっくりと広げたい！

温暖化の進行に対する取り組みが世界中の人々に求められている中で、「持続可能な開発（SDGs）」や「家族農業推進行動計画」が策定され、農水省も「みどりの食料システム戦略」を策定した。その具体化が、今私達に求められている。松川町では、どう取り組むか？

いっぱん質問

（問）第5次総合計画（改訂版）の農業に関する施策方針に鑑み、その進捗と今後の見通しについて説明を求める。

（町長）町の農業を持続可能なものにするために、優良農地の保全や農業の担い手の確保、また、既存の経営体にとらわれない新たな取り組みによる経営、農業基盤の整備などを進めている。

（産業観光課長）農業

担い手の育成への支援では、新みらい塾が今年度から若手農家による実行委員会が企画運営する形で進めている。町内外から25名程参加者があり、世界規模の気候変動についての講演会も開催した。また若武者には現在33名のメンバーを擁し、今年20周年のイベントが10月9日に行われた。全

国的にも若手農業者の集まりは貴重なもの。現在果樹農業研修生3人を受け入れ支援している。毎年2名ほどを受け入れたい。

人・農地プランについては、今までに増野・大沢南北・部奈で取り組み、現在いくつかの地区で進めている。人と農地の問題を地域の人々で考え話し合い、将来の地域農業の方向を決めていくものである。

（問）日本の農水省が

「みどりの食料システム戦略」を決定し、有機農業を2050年迄に25%100万ha（現在0.4%）と掲げた。それとの関連で町の取り組みと新規就農者の住宅について聞きたい。

（町長）農地の集約化も進めつつ、家族農業は大きなウエートを占

め、世界でも家族経営農業は9割を占めている。当町の中山間地域で兼業農家や家族農業は大切に、遊休農地を解消する上で家族で小規模な有機農業を取り組むなど、持続可能な農業を推進していく。

（まちづくり政策課長）

若者定住住宅取得祝い金制度を平成28年度から設け、今年度加算金をつけている。新規就農者を含めて移住者への住宅確保について、住宅の改修や住宅の確

保に積極的に対応していきたい。

（意見）国連で地球温暖化対策と共に、「持続可能な開発（SDGs）」や国連「家族農業の10年」が採択され、農水省も「みどりの食料システム戦略」を策定した。そうした持続可能な農業を進める上で、国および自治体の農業政策は重要である。持続可能な地域づくりをなお一層取り組むべきである。



全国有機農業研究者会議
2021 松川サテライト会場

里山と共生する臨床医 (上町) 伊藤 篤



わが子らが生まれる前、2年近くに渡り連れ合いと県内を、文字通り隈無く巡りました。ライフワークである森林医学と子育ての地を求めて。そうして辿り着いたのが、この松川町でした。役場の窓口で、連れ合いが土地探しの意図を告げると、興味深そうに何人もの職員が集まってきてくれたそうです。(他の町村では冷たくあしらわれることが多かった・・・)後に、猟友会を通じて懇意となった爺様の手引きを得て、今の土地に。長年放置されていたゆえの広葉樹林主体の混合林。分

け入ると静寂。湧水も。ひと目で気に入る、ここに決めました。

あれから12年余。3人の子が生まれ、猟犬も6頭に。夏の朝、ラジオ体操の帰りに上の娘と連結自転車で山道を登坂中、熊に襲われたことが。人間と獣の境界での生活です。刺激的で、狩猟民の感性・野生が、呼び醒まされるようで、私は好きですね。

愛知県出身。幼少の頃から山が好きで、若い頃は過激なアウトドア生活も。自転車による坂登りレースが趣味で、練習にうってつけも、このコロナで2シーズンレース無しは残念。毎年12kg前後減量するのが恒例ですが、目標と動機が失われ、減量的手段であった筋トレが、最近自己目的化しているような・・・でも、すべての世代にとって「筋トレは正義」。長野は長寿県ですが、健康寿命が短いのですよ！

本業の方ですが、下伊那日赤に職を得、循環器科から総合診療科へ。臨床医学は、診断をつけるプロセスこそが、最も知的に挑戦的な課題なのです。近頃は4時間以上、勉強している毎日。かつてこんなに勉強したことないですね。面白いです。田舎に住もうとも、世界中の最新の情報が得られるわけですね。わが子らにとっては、この松川町がふる里。私も骨を埋める覚悟でいます。みなさん、よろしく!!

I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者●子どもたち



松川中学校男子バスケットボール部

男子バスケットボール部の目標は「県大会出場」です。その目標に向かって日々練習を積み重ねています。コロナ禍で練習が思うようにできませんでしたが、活動が再開し新人大会に向けて頑張っています。バスケットボールができることに感謝し、最後まであきらめずプレーしていきます。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

広報部 (編集委員会)

(部長)
米山 郁子
(副部長)
米山 義盛
塩沢 貴浩
(部員)
松井 悦子
米山 俊孝
中平 文夫

あとがき

実りの秋を迎え、山の話(茸)、近年まれな豊作で盛り上がっているようです。

さて、9月定例会を終え、コロナ禍のなかで近年に無い大きな金額の決算報告を受け、今回は多くの紙面を割いて報告させていただきました。また、先ごろパラリンピックでホストタウンの「コストリカ」選手の金メダルの話題は、多くの町民の皆様も喜びを共有できたことと思います。(米山俊孝)